

公 益 社 団 法 人

福岡県作業療法協会会報

第111号 平成25年4月15日発行

(事務局)

〒802-0816 北九州市小倉南区若園2丁目6-21 ルミエール若宮101号

TEL 093-952-7587 発行責任者 志井田 太一 編集責任者 菅沼 一平



特集：「ほめ学」のススメ

目次

巻頭言：【生活行為向上】

「耳と目を傾けること」、「感じること」と「伝えること」

公益社団法人 福岡県作業療法協会 会長 志井 田 太 一

会長行動 . . . 1

特集：「ほめ学」のススメ

四條啜学園大学 准教授 北山 淳 . . . 2

平成24年度 第5回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録 . . . 5

平成24年度 第6回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録 . . . 8

平成24年度 九州作業療法士会長会主催合同研修会 . . . 11

第17回福岡県作業療法学会 . . . 12

生涯教育制度改定2013について . . . 15

生涯教育制度改訂2013の概要について . . . 16

現職者共通研修 修了Pointの申請手続きについて . . . 18

現職者共通研修「事例報告」の方法について . . . 19

福岡県作業療法協会 現職者共通研修 事例検討・事例報告 実施要項 . . . 21

各部委員会からのお知らせ . . . 25

Occupation 宮田病院 外尾幸一朗 . . . 29

リレーエッセイ： 介護老人保健施設リストーロ若宮 斉藤 茂
川崎病院 宮崎量代 . . . 30

会員動向調査 . . . 33

巻 頭 言 【生活行為向上】

「耳と目を傾けること」、「感じること」と「伝えること」

公益社団法人 福岡県作業療法協会 会長 志井田 太一

昨年末から今年の初めにかけて、スポーツ界における体罰に関する事件や報道が大きくクローズアップされ、著名な選手や指導者のコメントが多く寄せられていました。複数のコメントを要約すると、「体罰は指導者の（成績至上主義による）焦りによる苛立ちが基となっており、指導を受ける側にとっては上下関係の中で抵抗することができない状況下で、体罰を受けた方に残るのは恐怖や萎縮そして恨みであることが多い。したがって、指導者が伝えたい真意を、指導される側へどのようにすれば伝えることができるかを、深く洞察しなければならない。」というものでした。

作業療法の臨床の中でも、まさか暴力をふるうことは無いだろうが、対象者との対応で焦りによって「気持ちを十分に汲み取れないまま無理強いをし、相手に不快な思いをさせてはなかったか。」、「対象者が『ワクワク』し、生きがいとなるような作業療法が提供できてきたか。」を、もう一度振り返ってみなければならぬと感じました。

平成24年度の介護報酬改定の中で、「生活機能向上グループ活動加算」という科目が追加されました。これは平成20年度から平成22年の3年間をかけ、日本作業療法士協会が厚生労働省から老人保健健康推進事業の助成を受けて調査・研究を行い、その成果に基づいて厚生労働省老健局の方々と協議を重ねた結果制定された報酬科目です。

日本作業療法士会では、このコンセプトに基づくアプローチの方法を「生活行為向上マネジメント」として、会員への普及と並行して自治体への啓発に取り組んでいます。

「生活行為向上マネジメント」のコンセプトは、身体機能の維持・改善に向けた直接のアプローチである「機能訓練」とは異なり、生活をする上での「目標」や「目的」を確認し、それを実現するための方法を見つけ、生き活きとした毎日を送ることで、「からだ」と「あたま」を使い、心身の健康維持・改善を支援することと理解しています。作業療法士の役割は、対象者がやりたいことをみつけるお手伝いをし、自身の持っている技術や情報に捉われることなく、それを実現できる手段をさまざまな知識と技術を駆使し、対象者のやる気を喚起しながら、対象者が主体的に課題に取り組めるプランを策定し遂行することになります。さらに重要なことは、ケアマネジャーや介護福祉士、ホームヘルパーなど対象者に関わる専門職へ、理念と方法を伝え、共に考えてプランを推進することが作業療法士の役割となります。

目の前にいる方の、自信と笑顔を取り戻した「元気になる」姿を確認することで、自分自身が「元気になる」作業療法を実践するにはどうすればよいか。どのように、あればよいか。いつまでも、真摯に考える気持ちと実行力をもち続けたいと改めて感じているところです。

会長行動（平成25年1月～3月）

1月30日	北九州市すこやか住宅推進協議会 新春情報交換会・交流会 出席 場所：小倉リーセントホテル	2月24日	福岡県介護支援専門員 設立10周年 記念・公益社団法人移行式典 出席 場所：ソラリア西鉄ホテル
2月 9日	平成24年度 福岡県訪問リハビリテーション実務者研修会 出席 場所：麻生リハビリテーション大学校	3月10日	第17回 福岡県作業療法学会 基調講演 講師 平成25年度公益社団法人 福岡県作業療法協会 予算社員総会 出席 場所：イイヅカコミュニティセンター
2月10日	平成24年度 第3回九州支部会 出席 場所：コンパルホール（大分市）	3月16日	北九州ブロック懇親会 出席 場所：北九州市
2月16日	平成24年度 OT協会・士会連絡調整 会議 出席 場所：日本作業療法士協会事務局	3月17日	北九州リハビリテーション学院創立 10周年記念式典 出席 場所：リーガロイヤルホテル小倉
2月17日	平成24年度 第3回都道府県作業療法士会連絡協議会役員会 出席 場所：TKPスター会議室（東京都）	3月28日	産業医科大学リハビリテーション医療研究会世話人会 出席 場所：産業医科大学
2月18日	平成24年度 第6回福岡県作業療法協会理事会 出席 場所：らそうむスポーツガーデン		

「えっ、なに！学生行ってないの？連絡は？うっそー！！今日から初期評価がはじまるのに、しかもバイザーの先生はいろいろ調整してくれているのに！どうするの！」

連絡もなく突然、病院実習に行かない学生、このような状況が実習中にまれに起こります。理解の範疇を超えた行動に対して私たちはどのように対応すればいいのでしょうか？

または目を掛けていた後輩作業療法士が突然来なくなり、そのままフェードアウトしてしまう、慰留しても無気力で、どこか諦めた様子でどんな言葉をかけても反応が薄く、説得しているこちらが元気を奪われていく。逆切れしてしまいそうや！いやすでに逆切れしてしまってる！人間不信や！！こんなこともあります。

みなさんは同じような叫びや嘆きを聞いたことはないでしょうか？この前も知人の消防士が「新人隊員を怒るとすぐ辞める」と同じようなことで悩んでおり、立派な消防士になってもらいたくて、厳しく指導すると簡単に辞めてしまい、彼らの成長を願う気持ちを、なかなか理解してくれないというのです。最近ではこのような人材育成に関する話題が多くなったような気がします。

特に、仕事に対する思いが強い人ほど、悩みは深くなります。思いが強い分だけ、理想と現実の姿とのギャップが、より大きく見えます。

「厳しくしてきたのは、あなたの成長を思っていることで、現状にまだまだ満足してほしくないから。いまのままで、ここを辞めてどこに行っても長続きはしないよ。あなたのことを思って厳しい言葉をかけてるねん」

このような上司や先生の考え方は、間違っているのでしょうか？決して間違っていないと思います。

現場の管理責任者やスーパーバイザーまたは教員は理想と現実とのギャップに対して、常に怒りに近いエネルギーを持つべきだと考えています。またそのギャップを埋めるために全力を尽くすべきだとも思います。さらに叱るべき時は、その人のために本気で叱るべきだとも思います。

とはいうものの、辞められてしまっただけは元も子もありません。病院運営や学校運営に大きく影響が出てきます。でも成長のために叱らないと・・・・。いったいどうすればいいのか？究極のジレンマともいえるべき悩みに対する答えがあります。それは「ほめること」ではないかと考えています。

「なんだそんなことか！ほめれば相手は気持ちがいいだろう。自分もほめることくらいはできるし、患者さんには、けっこうほめることをしている。ほめることがいいのは分かるが、できていないことを

できるようになってから、その時がくれば思いっきりほめてあげようと思っている。でも今はまだそこまで達していないし、こんなところで満足してもらっては困る。教えることが多すぎて、ほめてる時間なんてない！」

このように考えている方は結構多いのではないのでしょうか？わたしもそうだったのですが、なかなか相手をほめることができない。それはなぜなのか理由を考えてみたいと思います。

ほめられない理由「ほめるとすぐ調子に乗る」

「ほめるとすぐ調子に乗るから」「ほめると天狗になって、いうことを聞かなくなるから」ほめられない理由として挙げられるのはこの理由が多いです。

しかしよく考えてみると、相手が調子に乗るまでほめきったことがある。あるいは、ご自身がほめられすぎて調子に乗って困ったことがある人なんているのでしょうか。皆無だと思えます。

ではどうして「ほめると調子に乗る」「ほめると天狗になる」という定説があるのでしょうか。それには二つの理由が考えられます。ひとつ目は、ほめると相手が嬉しくなってこれまでにない張り切りをみせる。そして、自分の実力以上のことに挑戦して失敗することがある。もうひとつの理由は、ほめた相手が成長して、今度は意見を聞かなくなってしまう、調子に乗って勘違いしてしまうということがあるかもしれない。という理由が考えられます。

では、「ほめると相手が嬉しくなって張り切って実力以上のことに挑戦して失敗することがある。」というのは成長のためには、必ずしも悪いことではなく、むしろ歓迎すべき失敗だと思うのですが、いかがでしょうか。

次の理由の「ほめた相手が成長して、今度は意見を聞かなくなってしまう、調子に乗って勘違いしてしまう」ということがある。」ではどうか、その状況や内容を確認すると、相手が成長してしまったり、言うことを聞かなくなってしまったのは、「ほめたこと」自体が悪いのではなく、ほめたあと、「ほったらかしに」したことが原因のケースが多いようです。

ほめるや叱るに共通して重要なのは、行動を起こした後、問題がなければそのままでもいいのですが、もし間違っただけで捉えているようであれば「ほったらかしに」しないことです。つまり「ほめる」+「アドバイス」のコンビネーションが大切です。

調子に乗せるつもりで思い切ってほめてみてはど

うでしょうか。

ほめることの効果

よく知られていることなのですが、脳科学において、脳には人称を認証する仕組みがありません。つまり自律神経系は、人称の区別がつかないので主語を解さず、すべて言葉を発した当事者のこととして読み取り、言葉が実現するように作動しはじめるというのです。

まわりにいる人の良いところを見つけてほめることで、それが自分のことに直結します。ほめることで自分の魅力が向上するということです。

実はこのことを誰よりも理解して一番活用しているのは、トップアスリートたちです。

彼らは、自分が使う言葉さえも徹底的にコントロールしており、特にメンタルが成績に直結するゴルフの世界では、当たり前のように行っています。

例えば石川遼選手は、「あれは苦手ですね？」と質問されると、必ず「いや、こちらのほうが得意なだけです」という言い方をする。「苦手」とは絶対に言いません。

またタイガー・ウッズ選手も、自分のライバルがパットを打つ瞬間に、それが入れば相手が優勝、自分の負けが決まるという場合でも「入れ、入れ、必ず入れ」と念じるそうです。

なぜそう念じるのか？そこで「外れろ！」と思った瞬間、脳には人称の仕組みがないので、自分に跳ね返ってくるからです。相手が外して自分の番に回ってきたときに、自分に対して「外れろ！」という変なプレッシャーがかかって、思いどおりに体が動いてくれないことがわかっています。

脳の人称の仕組みを理解して、使う言葉を徹底的にコントロールしているのです。

ほめる効果としては1964年にアメリカの教育心理学者ロバート・ローゼンタールが提唱したピグマリオン効果というのがあります。期待を込めて接することによって、相手もその期待に応えるようになるという現象であり。家庭や学校、職場、などでも、「君はこんないいところがある。だからきっと伸びていくよ！」と応援されてきた人ほど、能力を伸ばしていく例をよくみます。

反対に、期待されないで「お前はダメだ」と言われ続けていると、その言葉通りに成績が下がったり、能力が落ちてしまうことがあり、これを「ゴーレム効果」と呼びます。現実的にはピグマリオン効果を受けて能力を開花できた人などほんの少力で、ゴーレム効果で育てられてきた人の方が圧倒的に多いという現実もあります。

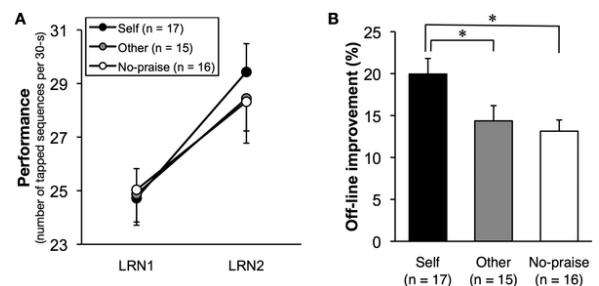
つまりほめるという行動は「あなたのこういうところが素晴らしい」と普段では見いだせない可能性を見つけて伝え続けることで、脳の人称の仕組みなどから自分自身にも同様の成長の可能性があると感じづく。ほめることで周りの可能性を見出すたびに、

その可能性の種は自分の中にも蒔かれているということが一番の効果であるといえます。

ほめる研究

次にいくつかほめることの効果を検証した研究を紹介します。

はじめに紹介するのは運動トレーニング時に他人からほめられると上手に運動技能を取得できるか否か調べた研究です。対象者(48人)に、キーボードを一定の順番に従い、できるだけ早くたたくトレーニングを実施し、その後「自分が褒められる」「他人が褒められるのを見る」「自分の成績だけをグラフで見る」の3グループに分け、翌日に同じトレーニングを行った結果「自分が褒められる」グループは他のグループに比べて前日より成績が約20%向上した一方、他のグループは成績の伸びが13~14%にとどまりました。(図)考察としてほめられることは、脳にとって金銭的報酬にも匹敵する社会的報酬であると言える結論付けています。(Social rewards enhance the offline improvement in motor skill. Sho K. Sugawara, Satoshi Tanaka, Shuntaro Okazaki, Katsumi Watanabe, Norihiro . Sadato米国科学誌プロスワン11月7日号)



次にほめること(心理的強化)が脳卒中患者の歩行速度にどのような影響を及ぼすかを調査した論文があります。米国8施設、米国外10施設が対象者で日本から森之宮病院(大阪)が参加しました。daily reinforcement of speed(DRS)群88名と、no reinforcement of speed(NRS)群91名と分類し。毎日、10m歩行を実施した。DRG群は、歩行速度の情報を受け、その後、「良かったですよ。何秒で歩きましたね。」「何秒速くなりましたよ。」「だいたい同じ速度で歩けるようになっていきますね。」「もう少ししたら、もっと早く歩けるようになることは間違いありません。」などといったほめることや励ましを受けた。一方、NRS群は、歩行速度は毎日計測せず、歩行速度に関する情報は得なかった。結果としては歩行能力における各パラメーター(歩行

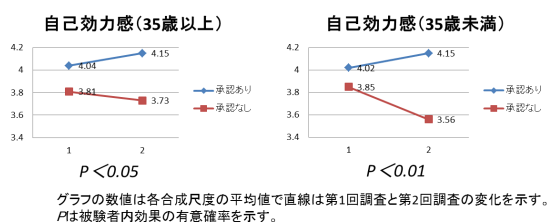
速度(walking speed)/連続歩行距離(walking distance)/歩行能力(FAC)}すべてにおいて有意にほめることや励ましを受けたDRS群で改善が認められました。(International randomized clinical trial, stroke inpatient rehabilitation with reinforcement of walking speed (SIRROWS), improves outcomes.Neurorehabil Neural Repair. 2010 Mar-Apr;24(3):235-42.)

最後の研究は「ほめて、認めることによって、社員のモチベーションは上がる」ということはわかるが、本当にちゃんと調べた研究があるの?という問いかけから承認(ほめられる)以外の要素がモチベーション向上に影響した可能性はないのかという疑問に実証研究で答えた研究です。方法としては個人の自己効力感、モチベーション、組織コミットメント等を表すと考えられる40前後の質問項目に答えてもらい、その後、対象者が所属する職場において、意図的に上司が部下を褒める取り組みをしてもらう。数カ月を経て、同じ質問項目の第2回調査を行う。2つの調査の回答傾向の変化を統計処理し、有意差を確認するという方法である。

結果として自己効力感、モチベーションなど4つの因子すべてで、ほめる上司の元で働く部下は、モチベーションが高いところからさらに上がり、そうでない上司の元で働いた部下は、低いところからさらに下がるという結果が証明されています。また特に印象的だったのが35歳未満の部下は、ほめられないとモチベーションが劇的に下がることが明らかになっていました(下図)。若い人ほどほめてやらなければだめだと立証された研究でした。

太田 肇 (2011)

『承認とモチベーション』 同文館出版



上記の研究報告から、ほめるという行為はある一定の成果をあげているようです。元来、人間は誰しも他者からほめられたい、認められたいと望んでいます。日常でもよく見れば「ほめるポイント」はいくつでもあります。学校の先生は学生に対して、または上司は部下に対して、彼らの努力や工夫は見えにくいものですが、その人に関心を示し、相手の気持ちになってほめる・認める度量が必要なのではないでしょうか。

最後に

私がほめることの効果に気づき、実践するようになったのは、自分自身の失敗の経験からです。以前

はというによくダメ出しをしていました。

授業中や実習などでダメなところを徹底的に突きつけて教えてあげていました。それが親切だと思っていましたし、ダメ出しをしてあればあげるほど、学生が伸びると考えていました。しかも全部証拠つきです。しかしその結果、教育効果や改善は面白いように進みません。どれほど正しい指摘でも、そのまま伝えてしまうとモチベーションは下がってしまい気持ちにシャッターを閉めてしまっ行動に移れなくなるのです。それで互いの関係性も悪くなり負のスパイラルにどんどん入ってまいります。そこで色々考えて今までの反対のことをしようと、ダメのところは断腸の思いで目をつむって勇気を振り絞ってほめてあげました。その後、なんと行動に移すという最高の返事が返ってきました。そこで初めて、ほめてあげないと行動に移してしてもらえないと痛いほど知りました。

正しいことは、ほめて伝える、そして気づかせる。今できていることをほんのすこしでも認めてあげ、改善点があれば「あっ!惜しいんやけどなあ・・・」などと伝えます。

ほめることが相手の心をひらく最高の指導法だと、幾多の生々しい体験を通じて知りました。卒業生に当時のことを聞くと、ダメ出しされているときは首が張って気持ちが悪くなっていたとのことで、いまから思うと恐ろしいことをしていました。

指導法については「やってみせて、言っ聞かせて、やらせてみて、ほめてやらねば人は動かじ」というような山本 五十六の名言が引用され実施されているように思います。

臨床実習や実技指導において「やってみせて、言っ聞かせて、やらせてみて」までを重要視し「見学・模倣・実施」の順でご指導している養成校も多くあります。しかし一番肝心な最後の「ほめてやらねば人は動かじ」のところまでを考慮して「見学・模倣・実施・承認(ほめる)」と実践する養成校はあまり見かけません。今後はさらに必要になってくるでしょう。今後は更に深く掘り下げてほめるということを「ほめ学」と称して発表していきたいと考えています。

よく考えることを思いつくままあれこれと書かせていただきました。読みかえして見ますと一貫性のない駄文になってしまいました。学術的な内容でないことについて快く承諾してくださった菅沼先生に深く感謝申し上げます。お世話になりました福岡県作業療法協会の益々の御発展をお祈りいたします。

平成24年度 第5回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 日 時 : 平成24年12月10日 (月) 19時00分～22時00分
- II. 場 所 : 株式会社 らそうむ スポーツガーデン
- III. 理事総数 : 20名
- IV. 出席理事数 : 20名
- V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 座小田孝安, 中川昇, 白山義洋, 丹羽敦, 深町晃次, 田中真純, 菅沼一平, 榎本孝史, 濱本孝弘, 手島智康, 福田裕樹, 轟木健市, 佐藤稔, 大田登志樹, 平岡敏幸, 大社学美, 玉野和男, 中山仁, (以上、理事) . 吉田秀樹 (監事) . 鐘ヶ江秀俊, 田邊慎一, 藤崎実知子 (以上、事務局)
- 欠席者氏名 : 原口健三 (監事) . (敬称略)
- VI. 議長選任
定款第32条に基づき, 議長に志井田代表理事を選任した.
- VII. 審議事項
 1. 業務執行理事及び事務局長の選任について
定款第13条に基づき業務執行理事に竹中祐二氏, 座小田孝安氏を, 定款第43条に基づき事務局長に中川昇氏を選任した.
 2. 会員の入退会について
中川事務局長から会員の入退会について報告があった. 平成24年8月1日から11月30日までの間に94名の入会があり定款第7条に基づき入会が承認可決された. 平成24年4月1日から11月30日までの間に23名の退会があり定款第9条に基づき退会が承認可決された.
 3. 平成24年度上半期事業報告及び収支決算報告について
平成24年度上半期の事業及び収支決算について志井田代表理事から報告があった. また, 吉田監事より監査報告があった. 定款第39条に基づき承認可決された.
 4. 共同事業運営規定 (案) について
他団体と共同で開催する事業における講師及び運営に関わる会員に対しての費用などの規定について中川事務局長から提案があり, 定款第29条に基づき承認可決された. 特別講師謝礼金及び旅費については, 詳細を再度検討することとなった.
 5. 福岡県作業療法協会設立30周年記念事業決算について
福岡県作業療法協会設立30周年記念事業決算について中川事務局長から報告があり定款第39条に基づき承認可決された.
- VIII. 協議事項
 1. 九州士会会長主催合同研修会への福岡県協会会員の推薦について
平成24年度の九州士会会長主催合同研修会への参加について福岡県協会より玉野理事, 中山理事を推薦することとなった.
 2. 公益社団法人福岡県作業療法協会社員総会 (平成25年度予算) の開催について
公益社団法人福岡県作業療法協会社員総会を平成25年3月10日 (日) 16:00よりイイヅカコミュニティセンターにて開催することとなった.
 3. 日本作業療法士協会への表彰者推薦の作業手順について
日本作業療法士協会への表彰者推薦の作業手順について手島規約委員会担当理事から提案があり承認された. また, 功勞表彰の基準については内容を継続検討していくこととなった.
 4. 現職者共通研修事例報告での『同意書』について
現職者共通研修事例報告での『同意書』について白山教育部担当理事から提案があり, 承認可

決された。『同意書』は県協会ホームページに掲載し、使用者がダウンロードして使用することとなった。

5. S I G申請について

白山教育部担当理事からS I G申請（1件）があったことについて報告され承認された。

6. 第17回福岡県作業療学会の機関紙への広告掲載について

福岡県作業療学会の機関紙への広告掲載について平岡筑豊ブロック担当理事から提案があり承認された。

IX. 報告事項

（代表理事より）

代表理事行動（平成24年10月～平成24年11月）

公益社団法人福岡県作業療法協会 平成24年度第4回理事会 出席

小倉リハビリテーション病院50周年記念式典 出席

福岡県P T・O T・S T合同役員会議 出席

都道府県作業療法士会連絡協議会 役員会 出席

北九州市すこやか住宅推進協議会 理事会 出席

ケアマネット21研修会「認知症の医療と介護の連携」 聴講

第23回全国ふうせんバレーボール大会開会式 出席

第14回西日本総合福祉機器展参加

第33回九州理学療法士・作業療法士合同学会 監事監査 出席

平成24年度第2回O T九州支部会会議 出席

平成24年度九州理学療法士・作業療法士合同士会長会議 出席

第34回九州理学療法士・作業療法士合同学会 参加

平成24年度第2回九州支部会議，九州合同士会長会議において，九州P T・O T合同学会の運営費用について協議された。運営スタッフには1日につき2,000円の手当を支給することと，参加費の支払いは任意とすることが決定した。

（各部・委員会より）

〈教育部〉

主催研修会開催報告—現職者共通研修会（参加者352名），発達分野研修会（参加者35名）

現職者選択身体障害分野研修会（参加者135名）

予定報告—地域分野研修会

教育部主催研修会の企画について，各ブロック研修会と連携をはかりながら企画していくことを検討中。

〈学術部〉

第17回福岡県作業療学会の進捗状況の報告。平成24年12月現在，一般演題に48演題の応募があった。

福岡県作業療法学術誌の発行・発送が完了した。

〈福利部〉

会員名簿の取扱いについて受領申請書及び管理簿を作成して管理することとなった。

会員動向調査について平成24年12月20日発送予定で準備中。

〈渉外部〉

福岡県介護実習普及センターでの福祉用具・住宅改修に関する研修会への講師派遣（10月2日，10月30日，11月1日開催）。福岡県介護支援専門員協会常任理事会出席（田中渉外部担当理事。10月3日開催）。福岡県介護支援専門員協会理事会出席（田中渉外部担当理事。10月10日開催）。第1回在宅医療連携代表者会議出席（10月31日開催）第1回飯塚市高齢社会対策推進協議

会出席（11月28日）．介護支援専門員協会広報部会（11月28日開催）出席．
第2回飯塚市高齢社会対策推進協議会出席予定（12月12日）

〈広報部〉

ホームページの管理，運営状況について報告があった．来年度の広報部の取り組みとしてタウン誌など情報誌による作業療法広報活動や動画による広報活動を検討中．

〈事業部〉

平成24年10月11日福岡市保健福祉センターにおいてハートメディア2012が開催され58名の参加があった．

〈保健福祉部〉

主催研修会報告—生活行為向上マネジメント研修会（参加者51名）

活動報告—高齢者支援企画会議開催．筑後ブロック高齢者支援企画会議開催．特別支援教育対策委員会開催．久留米市セーフコミュニティ推進委員会出席．

大牟田市自立支援・生活機能改善特化型介護予防推進事業会議出席．

活動予定—粕屋町子育てサロン，大刀洗町介護予防事業，歯科衛生士会主催介護予防事業にOTを派遣予定．

〈規約委員会〉

福岡県作業療法協会規約集を作成中．また，今後会員の増加に伴い表彰者も増加してくることが考えられるため表彰者選定に対するデータ作成を検討中．

〈保険委員会〉

平成25年2月9日（土）10日（日）に開催される平成24年度福岡県三団体合同訪問リハビリテーション研修会の案内状が完成した．

〈企画委員会〉

平成24年11月9日（金）10日（土）11日（日）に開催された西日本福祉機器展2012へ出展し，作業体験コーナーを設置しての作業療法の啓発活動や県協会の活動紹介などを行った．

作業体験コーナーには一般市民など324名の参加があった．

（各ブロック担当理事より）

〈筑後ブロック〉

活動報告—事業企画会議開催，研修会開催，現職者共通研修事例報告会開催，地区交流会

活動予定—事業企画会議開催，研修会開催，現職者共通研修事例報告会開催，

〈福岡ブロック〉

活動報告—事業企画会議開催，研修会開催，広報誌発行

福祉有償運送（11月3日開催）へ講師派遣（大社理事）

活動予定—平成24年度福岡市福祉用具普及事業運営協議会参加（12月19日開催）

〈福岡東ブロック〉

活動報告—事業企画会議開催，研修会開催

活動予定—事業企画会議開催，研修会開催，現職者共通研修事例報告会開催

〈筑豊ブロック〉

活動報告—事業企画会議開催，研修会開催，現職者共通研修事例報告会開催，広報誌発行

活動予定—事業企画会議開催，研修会開催

〈北九州ブロック〉

活動報告—事業企画会議開催，研修会開催

平成24年度認知症北九州大会実行委員会へ玉野理事，藤崎が参加．

活動予定—事業企画会議開催，研修会開催

X．次回開催日

平成25年2月18日（月）19：00～ 場所：株式会社 らそうむ スポーツガーデン

平成24年度 第6回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 日 時 : 平成25年2月18日(月) 19時00分～22時00分
II. 場 所 : 株式会社 らそうむ スポーツガーデン
III. 理事総数 : 20名
IV. 出席理事数 : 19名
V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 座小田孝安, 中川昇, 白山義洋, 丹羽敦, 深町晃次, 田中真純, 菅沼一平, 榎本孝史, 濱本孝弘, 手島智康, 福田裕樹, 轟木健市, 佐藤稔, 大田登志樹, 平岡敏幸, 玉野和男, 中山仁, (以上、理事).
吉田秀樹(監事).
鐘ヶ江秀俊, 田邊慎一, 藤崎実知子(以上、事務局)
欠席者氏名 : 大社学美(理事), 原口健三(監事). (敬称略)

VI. 議長選任

定款第32条に基づき, 議長に志井田代表理事を選任した.

VII. 審議事項

1. 平成25年度事業計画及び収支予算案について
平成25年度事業計画について中川事務局長から, 収支予算案について財務部鐘ヶ江氏から報告があり定款第38条に基づき承認された.
2. 平成24年度定期社員総会の開催について
以下のように平成24年度定期社員総会を開催することを定款第29条に基づき承認可決した.
なお, 議題についてはブロック代議員からの事前の議題提出はなかった.
日時 平成25年3月10日(日) 16時～17時
場所 イイヅカコミュニティセンター
議題 平成25年度事業計画及び収支予算案について
3. 会員の入退会について
中川事務局長から会員の入退会について報告があった. 平成24年12月1日から平成25年2月18日までの間に11名の入会があり定款第7条に基づき入会が承認可決された. また, 18名の退会があり定款第9条に基づき退会が承認可決された.
4. 平成25年度定期社員総会の開催について
以下のように平成25年度定期社員総会を開催することを定款第29条に基づき承認可決した.
日時 平成25年5月26日(日) 11時～12時
場所 らそうむスポーツガーデン
議題 平成24年度事業報告及び収支決算報告について
5. 第17回福岡県作業療法学会の収支予算について
第17回福岡県作業療法学会の収支予算について, 丹羽学術部担当理事から修正案が提案され, 定款第38条に基づき承認可決された.

VIII. 協議事項

1. 平成24年度定期社員総会の提出議題について
平成24年度定期社員総会の提出議題について協議した. 平成25年度事業計画及び収支予算案について議題提出することとなった.
2. 第2回筑後ブロック研修会の開催について
第2回筑後ブロック研修会について, 「介護予防の現状と課題」というテーマで市民公開講座を行う. 一般市民は参加費無料とすることとなった.

3. 大牟田市介護予防推進強化事業について

大牟田市介護予防推進強化事業への協力状況について、濱本保健福祉部担当理事及び轟木筑後ブロック担当理事から報告があり、モデル事業へ協力していく際の課題などが検討された。今後もモデル事業に対して積極的に関与していけるよう、会員の質の向上なども含めた体制作りの必要性を協議した。

4. 日本作業療法士協会功労表彰について

日本作業療法士協会功労表彰について、協会が定めた規定の対象となる会員は原則すべて表彰候補者に挙げることとなった。

IX. 報告事項

(代表理事より)

代表理事行動（平成24年12月～平成25年1月）

社団法人福岡県私設病院協会福岡県医療関連機関協業組合創立50周年記念祝賀会 出席

福岡県作業療法協会 平成24年度中間監査 出席

聖マリア国際医療センター開所式 出席

九州士会会長会広報戦略会議 出席

北九州市すこやか住宅推進協議会 新春情報交換会・交流会 出席

車いすテニス北九州OPEN（平成25年3月1日～3日開催）に協賛する。

日本作業療法士協会の全国学会について、今後は大都市圏（東京、大阪、名古屋、福岡、札幌など）を中心に開催されることとなった。学会長については開催地とは別に都道府県の会長が就くこととなり、査読については日本作業療法士協会が行う。

認知症初期集中支援チーム、地域ケア会議、生活行為向上マネジメント、特別支援教育への専門家活用などのモデル事業への積極的な関与をしていきたい。

(業務執行理事より)

北九州市市政50周年記念式典及び懇親会（2月10日開催）へ出席した。介護認定審査会などに長年協力した県協会会員が表彰された。（座小田業務執行理事）

(各部・委員会より)

〈教育部〉

主催研修会開催報告―地域分野研修会（参加者36名）

現職者共通研修の事例報告に使用される同意書を作成した。平成25年度より運用を開始する。

生涯教育制度推進担当者会議に教育部青山氏が出席した。

来年度、日本作業療法士協会生涯教育制度が改定される。会員への周知徹底を行っていく。

〈学術部〉

第17回福岡県作業療法学会の進捗状況の報告。平成25年2月現在、150名の参加申し込みがある。ポスター、飯塚市ホームページなどでも案内を行っている。

〈福利部〉

平成24年度会員動向調査について1月25日に締め切り名簿作成作業を進めている。

平成25年3月17日（日）「医療人としてのコミュニケーション・マナーに関する研修会」

（会場：九州リハビリテーション大学校）を開催する。

北九州市内10大学が連携して行っている地域活動“まちなかESD”への取り組みについて報告した。

〈渉外部〉

飯塚市在宅医療連携協議会出席（12月12日）。公益社団法人福岡県介護支援専門員協会支部長会議出席（1月7日）。飯塚市在宅医療連携協議会研修会参加・懇親会出席（2月16日）。

飯塚市高齢社会対策推進協議会出席予定（2月20日）。公益社団法人福岡県介護支援専門員協会

10周年記念式典へ志井田代表理事出席予定（2月24日）．飯塚市在宅医療連携協議会出席予定（3月15日）

〈広報部〉

作業療法のPRビデオを作成中．第2回九州作業療法士会長会主催広報戦略会議（12月16日開催）に菅沼広報部担当理事が出席．九州各県士会の広報活動について情報交換した．

〈事業部〉

平成24年3月に高校2年生を対象にOTの職場体験を行う．平成25年度啓発ポスターを作成中である．

〈保健福祉部〉

活動報告－高齢者支援企画会議開催．粕屋町社会福祉協議会子育てサロンへOTを派遣．

久留米市セーフコミュニティ推進委員会出席．

大牟田市自立支援・生活機能改善特化型介護予防推進事業へ協力．

歯科衛生士会主催介護予防事業にOTを派遣．（1月17日，23日，25日，29日，2月4日）

活動予定－「認知症初期集中支援チームに対応する作業療法士のための研修会」（3月17日開催）に濱本保健福祉部担当理事が出席予定．

〈保険委員会〉

平成25年2月9日（土）10日（日）に平成24年度福岡県三団体合同訪問リハビリテーション研修会が開催された．参加者は307名（2日間合計）でOTは1日目50名，2日目46名であった．

（各ブロック担当理事より）

〈筑後ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，研修会開催，現職者共通研修事例報告会開催

活動予定－事業企画会議開催，研修会開催

〈福岡ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，研修会開催

活動予定－研修会開催，現職者共通研修事例報告会開催，広報誌発行

〈福岡東ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，研修会開催，現職者共通研修事例報告会開催

活動予定－事業企画会議開催

〈筑豊ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，研修会開催，広報誌発行

活動予定－事業企画会議開催，広報誌発行

〈北九州ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，研修会開催

平成24年度認知症北九州大会実行委員会へ玉野理事，藤崎が参加．

活動予定－事業企画会議開催，研修会開催，現職者共通研修事例報告会開催

X．次回開催日

平成25年度 第1回理事会

平成25年4月8日（月）19：00～ 場所：株式会社 らそうむ スポーツガーデン

平成24年度 九州作業療法士会長会主催合同研修会

会期：平成25年2月10日（日）14：00～18：00 ・11日（月）10：00～13：00

会場：大分コンパルホール

テーマ：「～組織作りのための～ 後輩育成におけるコーチング」

内容：1日目 講義 「今、後輩育成で重要とされるコミュニケーション」

演習形式 「コミュニケーションスタイルの違い、セルフワーク」等

2日目 事例研究 ①わかっているのかわかっていないのか良くわからないケース

※ディスカッション形式 ②悩みを表現しきれない、してくれないケース

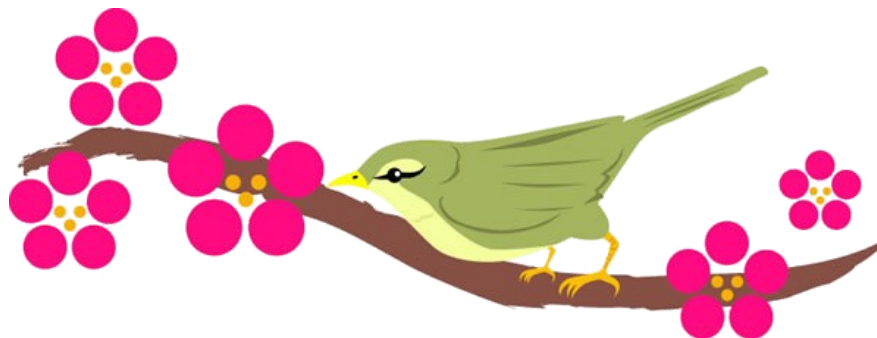
講師：島袋十史樹 氏（プラスコミュニケーションズ代表 プラス式コーチング主宰）

司会：平野政治（大分県担当者）

定員：80名

私が今回開催された九州作業療法士会長会主催合同研修会に参加した目的は、臨床において、後輩指導でどのように教育すれば主体的に行動がとれるのかといった対応で困った経験や、私が現在、作業療法学科専任教員であることで、若い作業療法学科の学生に、全て教えるのではなく、いかに助言や援助をすれば、成長していけるだろうかと常々考えていたこと、元々コーチングに興味があったことが影響しています。作業療法士は、厚生労働省の職業分類表によれば、「専門的技術的職業の医療技術者」に分類されます。確かにリハビリテーションの技術職であり、作業療法だけではなく医療・保健・福祉・教育など幅広い分野の知識や技術も求められています。私の考える作業療法士は、サービス業の接客業でもあると考え、知識や技術以上にコミュニケーション能力が求められていると常々感じています。九州作業療法士会長会主催合同研修会の目的は「リーダー育成」であり、今回参加した研修会のテーマは、「後輩育成におけるコーチング」でした。基礎的なコーチングの知識を学ぶだけではなく、参加者とグループディスカッションをしながら、後輩育成に必要なコミュニケーションの技法を学ぶことができる演習形式で、各県士会の多くの参加者と2日間臨床での体験を共有し、情報交換など交流も楽しむことができたことは、とても貴重な体験でした。一番印象に残る研修内容は、1日目の最初の講義、「自分自身のタイプ」を知ることでした。私は、後輩指導をする際に意識していたことは、きちんと伝達することでした。今回の研修で自分自身のタイプが「サポーター」と「プロモーター」の特徴をもっていると知りました。「サポーター」の特徴は、「自分の意思を尊重するよりも相手を優先する行動」であり、臨床での自分を振り返ると、まだ臨床経験が浅く自信がない後輩に対して相手を尊重するばかりで、逆に困らせていたのではないかと感じました。また「プロモーター」の特徴は、「人と活気あることをするのが好み、良く話をするが相手の話を聞かない行動」であり、後輩に対して、自分自身のアイデアを伝えるばかりで、おもしろいかおもしろくないかの自分の感情も優先し、相手の考えを出せないようにしていたのではないかと感じました。自分のタイプや特徴を振り返る良い機会となりました。これまで研修会や勉強会など自己研鑽できる機会を忙しいと理由をつけ、積極的に参加することが少なかったのですが、無理してでも時間をつくり、積極的に参加できたことで、多くの知識や技術を習得できました。今後、後輩や学生の考えをしっかりと聞き、その考えを尊重する機会をつくり、しっかり相手を認めることができるコミュニケーションができそうです。とても有意義な時間となりました。

福岡リハビリテーション専門学校 作業療法学科専任教員 中山仁



第17回福岡県作業療法学会（3月9・10日） 大盛況でした！

平成25年3月9日（土）・10（日）、イイヅカコミュニティセンターにて、第17回福岡県作業療法学会が開催されました。

一日目は“祝春一番”といった強風、二日目は小雨がぱらつく曇り空の中、学会参加者は、2日間で延べ417名（実数283名）の方が参加され、大きなトラブルもなく無事、かつ盛大に開催されました。

これも、松本学会準備委員長、平岡筑豊ブロック担当理事をはじめとする筑豊ブロックの準備委員皆様のご尽力の賜物であると感謝している次第です。

一般演題（口述・ポスター）は、これまでの学会を大幅に上回る48演題の発表数となり、初日の教育セミナーにおいては、身障分野セミナーとして藤本一博先生（茅ヶ崎北陵病院 認定作業療法士）、老年期分野セミナーとして松田均先生（岩手リハビリテーション学院作業療学科教務主任 アクトパコおもちゃトリハビリ研究所 代表・作業療法士）、精神分野セミナーとして西上忠臣先生（NPO法人ちゃんくす 代表・作業療法士）の3名を講師としてお招きし、それぞれ「トップダウンの作業療法」、「高齢者ケアにおけるアクティビティ・トイの実践」、「地域における作業療法士の役割～できるをつなげる『NPO法人ちゃんくす』の取り組み」をテーマにご講演頂きました。教育セミナーは3分野が同時進行しましたにもかかわらず、どの会場も多く参加者で埋まり活気のある教育セミナーとなりました。その活気は夜の懇親会、また2日目のモーニングセッションへと続き、講師と参加者の活発な質疑応答、意見交換の場を創りだし、熱気で満ち溢れていました。また2日目の基調講演では、公益社団法人福岡県作業療法協会会長である志井田太一先生に「福岡県作業療法協会のこれまでとこれから」をテーマに、平成24年度に公益社団法人化した福岡県作業療法協会の歴史を振り返りながら、これからの作業療法の展開、今後の公益社団法人としての協会の指針について講演いただきました。展示ホールでは各種イベントが行われ、ここにおいても来場者が多く、高齢者疑似体験においては、1日目20～30名、2日目は10名程度が参加され賑わっていました。さらに、市民公開講座では、渡辺謙さん主演映画「明日の記憶」のもでとなった越智須美子さんを講師にお迎えし、“人を愛すること、そして一緒に生きていくこととは、、、。” “生きることの辛さ、切なさ、そして素晴らしさ”について、若年性認知症となった夫の16年間にわたる介護体験を「穏やかに笑っていたい！ ～本人の思い・家族の想い～」をテーマとして、切実に語っていただきました。聴講された123名（半分以上が市民の方）の参加者各々が、愛すること、生きることについて考えさせられ、また勇気を与えられ、多くの方が涙しました。

このように、今回の学会テーマ「未来がつながる作業療法 ～集い、語り合おう～」にふさわしい内容であり大成功であったと自負しております。そして、会員の皆さまの自己研鑽の場として、また県民の皆様への専門技術の還元の間としても充実した内容であったのではないかと感じております。

各講師の皆様、市民公開講座に参加して頂いた市民の方々を含め、学会参加者の皆様、本当にありがとうございました。

第18回福岡県作業療法学会は、北九州ブロックでの開催となりますが、今度は北九州ブロック会員の皆様の熱意で、また盛大な祭典となることを期待するとともに、私自身も学術部担当理事として尽力いたします。

最後になりましたが、今回の学会にご協力いただきました飯塚市関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

学術部担当理事 丹羽 敦

学会写真



たくさんのご参加ありがとうございました m(_ _)m

○ 一般演題



○ 教育セミナー（身障分野）



○ 教育セミナー（老年期分野）



○ 教育セミナー（精神分野）



○ 基調講演



○ 作品展



○ 市民公開講座



生涯教育制度改定2013について

福岡県作業療法協会

教育部 理事
生涯教育専門部会長

白山 義洋
青山 克実

2003 年4 月に生涯教育制度がスタートし、今年満10年を迎えました。生涯教育制度は、周囲を取り巻く医療情勢の変化や時代の流れに柔軟に適応できるように、5年に1度の見直しを行うこととしています。2008 年度の最初の改定に続き、2回目の改定が行われました。先に日本作業療法士協会誌に掲載されていますが、改めて「生涯教育制度改定2013」についてご案内します。

医療広告を大きな目標に掲げつつ、その条件を満たすための制度の再整備、生涯にわたり社会的に耐えうる制度への発展を含めた制度改定の検討が行われました。作業療法士を取り巻く社会情勢に加え、作業療法士自身の資質を問われる時代がますます間近に迫っています。個人として、団体としての質を更に向上していくためにも制度の積極的活用をお願いします。生涯教育制度に関する会員の皆様へのお願いについて、以下にお知らせします。

※現在、福岡県作業療法協会ホームページの掲載内容も検討中です。調整次第、随時掲載していきますので、ご注意ください。また、必要な書類などについては、HPよりダウンロード可能なものもありますので、ご利用ください。

1. 基礎研修制度の改定(平成25年4月1日～)

基礎ポイント直近5年の有効期限の廃止

現職者共通研修修了ポイント付与(20ポイント)

職者共通研修講座名変更

「5. エビデンスと作業療法実践」⇒「5. 実践のための作業療法研究」

「8. 事例検討方法論」⇒「事例報告と事例研究」

2. 認定作業療法士制度について(平成25年4月1日～)

資格認定審査(試験)の導入

更新審査の変更

資格再認定審査の導入

3. 専門作業療法士制度について(平成25年4月1日～)

資格認定審査(試験)の導入

読み替えによる専門作業療法士取得の変更(2013年度より開始)

更新制度の導入

大学院との連携

4. その他の制度

認定作業療法士取得共通研修「研究法」の内容の一部変更

基礎研修等の修了証の発行

5. 生涯教育受講登録システムの開発について

6. 臨床実習指導者研修制度・臨床実習施設認定制度の導入

7. 会員の皆様へのお願いとお知らせ

1) 現在、基礎研修中の会員の方

入会から5 年間での基礎研修修了を目指し、自己研鑽を継続して行ってください。

2) 基礎研修修了後、認定作業療法士を目指している会員の方

もうすぐ認定作業療法士です。継続して頑張ってください。2013 年度から、認定作業療法士取得研修の終了時に試験を実施します。研修会スケジュール等を十分確認いただき、研修会にご参加ください。

3) 基礎研修終了後、5年を経過し更新期限を超えた会員の方

現在手帳にある基礎ポイントはすべて有効なポイントになります。基礎研修修了後からのポイントをカウントし、50 ポイントあれば、更新が可能となります。手帳を確認し、更新申請の手続きを行ってください。更新ができれば、次の認定作業療法士の取得に向けて、自己研鑽を継続してください。

4) 認定作業療法士を更新できず、失効された会員

前述のとおり、2013 年度より「認定作業療法士資格再認定審査」の試験を実施します。現時点では、2014 年2月11 日（案）を予定しています。試験実施の詳細は、本誌ならびに協会ホームページにおいて、随時、案内を行う予定です。該当する会員の方は、詳細を確認いただき、手続きを行ってください。

5) 認定作業療法士を取得されている会員の方

ご自身の認定作業療法士の有効期限（更新期限）をご確認ください。次年度には多くの会員の方が更新の時期を迎えます。更新要件をご確認いただき、手続きの準備をお願いいたします。

専門作業療法士の分野も7 分野となっています。該当する専門分野がありましたら、取得要件等をご確認いただき、資格認定審査の手続きをお願いいたします。

6) 専門作業療法士を取得されている会員の方

作業療法士の代表として、それぞれの専門分野において今以上の活躍を期待します。「広告が可能な医師等の専門性に関する資格名等の届出」に向け、準備を進めております。まずは、「専門作業療法士読替え取得者」の試験を実施します。3 年間の猶予期間の間に受験していただき、再認定を受けていただきますようお願いいたします。

【問い合わせ先】

生涯教育専門部会長

青山 克実(専門学校麻生リハビリテーション大学校)

e-mail : k-aoyama@asojuku.ac.jp

生涯教育制度改訂2013の概要について

福岡県作業療法協会 教育部
生涯教育専門部会

1. 基礎研修制度の改定(平成25年4月1日～)

1) 制度全般の改訂

基礎ポイント直近5年間の有効期限の廃止

現職者共通研修修了ポイント付与(20ポイント)

現職者共通研修「10. 事例報告」の発表機会の拡張

2) 職者共通研修の改訂

【タイトル変更】

「5. エビデンスと作業療法実践」⇒「5. 実践のための作業療法研究」

「8. 事例検討方法論」⇒「事例報告と事例研究」

2. 認定作業療法士制度について(平成25年4月1日～)

1) 資格認定審査(試験)の導入

試験は、認定作業療法士取得研修の中に盛り込み、研修会終了後に30分程度の試験を実施

2) 更新審査の変更

5年間の認定作業療法士更新ポイント(np)の要件を、100npへ変更する。

2015年3月31日までは無料とするが、それ以降は更新審査料を5000円徴収する。

3) 資格再認定審査の導入

2013年4月1日より実施する。認定作業療法士の認定を失効した会員を対象とする。

1 回/年の実施とし、専門作業療法士資格認定審査(試験)と同日とする。

資格再認定審査料は20,000円とする。

4) 認定作業療法士既取得者への対応

既取得者の資格はそのままとし、試験の受験義務はないものとする。

3. 専門作業療法士制度について(平成25年4月1日～)

1) 資格認定審査(試験)の導入

2) 読み替えによる専門作業療法士取得の変更(2013年度より開始)

読みに替えにより申請する者も資格認定審査を導入する。

※既取得者についても、再認定する(移行措置として制度変更後、3年以内に資格認定審査を受験)

3) 更新制度の導入

専門作業療法士は5年間で以下の要件を満たすことで更新することができるとする。

・生涯教育基礎研修ポイント25p以上

・専門作業療法新規取得要件(各分野)の研究実践と教育、社会的貢献の実践と合わせて15専門単位以上

4) 現在の分野

「福祉用具」「認知症」「手外科」「特別支援教育」「高次脳機能障害」「精神科急性期」「摂食嚥下」

5) 大学院との連携について

大学院修士レベルでの教育により、専門分野の専門基礎、専門応用の一部の単位が取得できるようにする。2012年、名古屋大学大学院にて特別支援教育の一部が認定されている。

4. その他の制度

①他団体SIG等の認定方法について

これまでは、各士会で認定した団体について名称のみの報告となっていたが、今後は団体名、人数、会則などを確認する認定申請書・報告書を用いて手続きするものとする。

②認定作業療法士取得共通研修「研究法」の内容の一部変更

③基礎研修等の修了証の発行

基礎研修終了者にも修了証を発行する。

5. 生涯教育受講登録システムの開発について

会員が受講した研修会等の受講記録をweb上で確認できるシステムを構築中。

6. 臨床実習指導者研修制度・臨床実習施設認定制度の導入について

1)臨床実習指導者研修制度の概要

①初級、中級、上級の枠組みで実施する。

②初級は、1～3年目を主な対象としていることから、以下の現職者共通研修に包含する。

「作業療法における協業・後輩育成」

「職業倫理」

③平成25年度より、臨床実習指導者研修制修了認定を開始する。

既存会員については、要件を満たすことで認定可能とする。

手続き方法などについては別途案内します。

平成25年度入会会員から全コース受講することとする。

本制度研修について、平成25年・26年度にモデル事業として全国2か所で実施予定。

手続き方法などについては別途案内します。平成25年度入会会員から全コース受講することとする。

2)臨床実習施設認定制度について

平成25年度より開始され、一定の条件を満たしている施設を臨床実習施設として認定する。

申請制度にて実施し、認定を受けた施設はOT協会より認定証を発行する。

手続き方法などについては別途案内します。平成25年度入会会員から全コース受講することとする。

【問い合わせ先】

生涯教育専門部会長

青山 克実(専門学校麻生リハビリテーション大学校)

e-mail : k-aoyama@asojuku.ac.jp



現職者共通研修 修了Pointの申請手続きについて

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。

現行の生涯教育制度が2003年にスタートし、10年目を迎えます。作業療法士の質の保証と社会的地位の向上を図るためにも生涯教育の更なる推進が求められています。(社)日本作業療法士協会は、医療広告を目標に掲げ、その条件を満たすための制度の再整備と制度の発展を含めた制度改正が行われました。現在の会員の生涯教育の進捗状況の調査において、基礎研修の段階で停滞している会員が莫大な数に上がることが報告されております。特に、1985年度入会から2007年度入会会員のうち約23,000名(全国)が、基礎研修(5年期限)失効、基礎研修更新期限失効、制度未履修などの状況になっております。また、認定作業療法士を取得するために必要な取得研修を受講できる基礎研修修了・更新(有効期限内)の会員は、3,000人名にすぎないのが現状です。多くの会員の生涯教育を推進するために、(社)日本作業療法士協会では以下のような改正を行っています。

- ①基礎ポイント直近5年間の有効期限の廃止
- ②現職者共通研修 修了のポイント付与
- ③現職者共通研修「10. 事例報告」の発表機会の拡張

今回の制度改正を受けて、基礎研修修了・更新および生涯教育制度の更なる推進を図るため、現職者共通研修修了ポイントの付与申請手続きについてお知らせします。

【現職者共通研修 修了ポイント付与対象者】

- ①現職者共通研修・基礎研修ともに終了していない方
- ②現職者共通研修は修了しているが、基礎研修が修了していない方

※すでに基礎研修が終了している方には付与できません。

【申請方法】

現職者共通研修の10講座すべて受講が修了した段階で付与申請ができます。

- ①現職者共通研修・基礎研修未修了者

現職者共通研修10講座がすべて終了した時点から申請が可能です。以下の手続き手順に従い申請してください。

- ②現職者共通研修修了・基礎研修未修了者

平成25年4月1日より申請が可能です。以下の手続き手順に従い申請してください。

～手続き手順～

1)郵送の場合

以下の書類を、福岡県作業療法協会事務局に送付してください。

- ①返信用封筒、②生涯教育受講記録、③現職者共通研修 修了付与ポイントの申請であることがわかる文書(自作)

送付先：福岡県作業療法協会 事務局

〒802-0816 北九州市小倉南区若園2丁目6-21-101

※現職者共通研修、現職者選択研修の修了印の申請と合わせて申請頂くと1回の手続きで済みます。

2)研修会場での手続きについて

今年度は試験的に、現職者共通研修、修了ポイント付与、現職者選択研修の修了印について各研修会場で時間限定にて受付します。ただし、受付は本人のみとさせていただきます。会場にて手続き出来ない方は郵送にて手続きしてください。

※旧新人教育プログラムから、現行の現職者共通研修への読み替え手続きについて終了していない方はお問い合わせください。

【申請期限】

平成25年4月1日～

【問い合わせ先】

福岡県作業療法協会 教育部 生涯教育専門部会
青山 克実(麻生リハビリテーション大学校)
E:mail : k-aoyama@asojuku.ac.jp

現職者共通研修「事例報告」の方法について

日本作業療法士協会教育部生涯教育制度改定に伴い、現職者共通研修「事例検討」の基本方針について検討され、全国の士会間で下記のような統一見解が出されました。平成25年4月1日より次の条件にて実施します。

～決定事項～

「事例報告」の基本

- 1) 士会が開催する「現職者共通研修事例報告会」に参加し、事例を報告した場合
- 2) 協会主催の学会および査読のある士会の学会等で発表した場合(いずれもシングルケースに限る)
- 3) 事例報告登録制度に登録した場合
- 4) SIG(他団体の学術集会等における事例発表も含む)において事例報告した場合(これまでの条件を廃止)
- 5) 基礎研修修了者が指導する事例報告会で発表した場合

※改定箇所：2)の「査読のある」を追加、4)の条件を廃止、5)を追加

これを踏まえて福岡県作業療法協会においては、2013年度より下記の方法にて、現職者共通研修「事例報告」を実施致します。

●「事例報告」の方法

- 1) 士会が開催する「現職者共通研修事例報告会」

* SIG 等で発表した同じ事例を県協会が作成した事例報告様式（事例報告作成指針の書式）を使用し、発表してもかまわない。

- 2) 協会主催の学会および査読のある士会の学会等で発表（ただし、シングルケース限定）
- 3) 事例登録制度への登録

＜補足説明＞

「事例報告」の基本2)、3)で発表・登録した事例の受講シール申請方法について発表・登録した事例の写し（コピー）と返信用封筒を同封して福岡県作業療法協会事務局に郵送してください。

- 4) SIG 等にて発表した事例を現職者共通研修「事例報告」読み替えることが可能です。

県協会指定の抄録の様式にて事務局に申請が必要になります。

＜申請方法＞

①申請文書（読み替えの申請であることを説明する文書を必ず作成し同封してください）、②県協会指定の事例報告様式（事例報告作成指針の書式）、③発表の事実が証明できる文書等のコピー、④返信用封筒を同封の上、事務局に申請してください

- 5) 基礎研修修了者が指導する事例報告会で発表

＜申請方法＞4)と同様

※詳細につきましてはお問い合わせ下さい。

＜問い合わせ先＞

福岡県教育部生涯教育担当 担当責任者 青山克実(麻生リハビリテーション大学校)

fax : 092-436-6609 mail : k-aoyama@asojuku.ac.jp

音琴慎一(小倉リハビリテーション学院)

fax : 093-473-8159 mail : negoto@kokura-reha.jp

テーマ：12 Point程度

「現職者共通研修 事例報告

発表抄録 作成指針」

***演題以外は10Point程度で書式をそろえる**

キーワード：作業療法キーワード集より3ワード
(最新の機関誌「作業療法」参照)

所属：(社)福岡県作業療法協会

氏名：教育部

(研究の) 目的又ははじめに

症例研究の目的を述べる。本症例研究のテーマを具体的に明確に述べる。「担当し、改善と知見が得られたので報告する」といった記述にあたり、本研究のテーマが明確に伝わるよう、なぜその症例を取り上げたか、本研究を通して視聴者へ伝えたいことは何かを具体的・端的に述べる。テーマを絞り、長期介入した場合は期間を限定したり、種々の問題に介入した場合でもその問題点を絞るなどの工夫をする。ここでのインパクト・テーマの明確さが本研究の視聴者への関心を高める。

事例紹介

年齢、性別、疾患名、現病歴、既往歴、家族構成、職業など、主に医学的所見も含めた個人因子・環境因子に該当する部分となる。今回の研究で特に関連のある事項を優先して記述する。事例紹介に関しては表1を参照して、個人情報保護に十分に配慮すること。

作業療法評価

主に介入前の評価のまとめと解釈として記述する。全体像として主な活動及び参加状況とそれらに関連した健康状態や心身の状況、背景因子についてまとめる。

また、本研究のテーマ関わる主要な問題点等について記述する。データの提示に関しては、テーマに関連したもの限定し、数字の羅列にならないようにする。

評価表・検査に関しても、データはテーマに関連したもの限定し、その他に関してはまとめとして記述する。

観察評価については、観察の視点を明確にし、事実情報のみを記述する。

対象者本人や家族の訴えや希望などについても触れておく。

作業療法実施計画(プログラム)

テーマに沿った目標に限定し、その目標に対する介入方法について記述する。実施課題・作業、形態、頻度、期間や関わり方など。目標達成に向け、作業療法士がどのような意図を持って作業を選択し、どのように関わるのかを明確且つ具体的に記述する。

作業療法(介入)経過

計画に記述した内容と関連したことに絞り、「どのような経過」をたどったのかを述べる。項目をつける、時期を分ける、プログラムの変更やその理由、データの変化など整理して、伝わりやすい工夫をする。OTRが感じたこと、考えたことなどを理由

としての事実として記述しても構わない。

結果

介入後の評価のまとめとして記述する。内容に関しては「3. 作業療法評価」と同様になるが、主に変化した内容、データを具体的に記述する。

作業療法の介入によって、対象者の方の生活がどのように変化したのか、その事実情報を具体的に記述するとよい。

考察

「6. 結果」で記述した内容についての解釈を記述する。

今回のテーマに沿った自分なりの解釈や考えを述べる。主な内容として、

- ①介入によってどのような結果が得られ、それらはどのような理由によるのか
- ②今回の実践により、対象者の活動や参加にどのような変化をもたらしたのか。対象者にとっての意味や価値、QOLへの視点について
- ③今回の実践結果と先行研究などとの比較について
- ④臨床的な意義や応用、活用などについて
- ⑤今後の介入方針や予後について

など。
箇条書きや図式の挿入など伝わりやすい工夫と整理をして述べる。今回のテーマを通して考えたこと感じたことを素直に表現する。考察を裏付けるような理論的背景や文献・研究などある場合には明確に示す。

その他

- ①抄録はA4用紙1枚にまとめる。
- ②字体・文末の表現は統一する。
- ③項目・見出しは本文と字体を変えるなど見やすいように工夫する。また、各項目はこの書式を参考にし、各自適切な表現・配置を考慮してよい。

福岡県作業療法協会 現職者共通研修 事例検討・事例報告 実施要項

【対象者及び申し込み資格】

事例検討及び事例報告は、日本作業療法士協会及び県士会の会員であって、日本作業療法士協会 現職者共通研修受講該当者であること。

＊会費未納者については、受講を認めない。

【必修条件】

1. 「事例検討」は聴講、「事例報告」は症例発表とする。
2. 発表者においては、抄録（発表抄録作成指針を参照に作成）を提出する。
3. 発表に際し、事例の方ご本人の同意を得てください。現職者共通研修会「事例報告」同意書を必ず頂いた上で発表してください。なお、同意書は発表者自身にて管理して頂きますが、同意書の有無については発表時に確認させて頂きまので、発表時にご準備ください。

【学習の到達目標】

作業療法における「事例検討」の重要性を理解する。

作業療法研究における「事例検討」の内容を知る

「事例検討（事例報告）」のまとめ方、方法を知る。

「事例検討」の実際を理解する。

「事例報告を視聴する」「事例報告を視聴し、内容を共有する」「自ら事例報告を実施する」過程を経験する。

「自ら事例報告を実施する」に当たり、協会の「事例報告」の様式を知る。

「自ら事例報告を実施する」ために、発表を経験し、指導を受ける。

（社）日本作業療法士協会 教育部

『生涯教育制度 基礎コース必須研修 新人教育プログラム・現職者研修企画運用マニュアル』より

【開催日及び頻度】

開催日及び頻度、担当者については、年度初頭にて各ブロック運営委員会にて検討・決定する。

受講者は、各ブロックからの案内を待って、参加申し込みを行う。

＊尚、他ブロックへの参加も可能であるが、参加者人数によっては、ブロック会員が優先される。

【発表形式】

すべて口述発表（発表10分）。

原則として、抄録とPowerPointにて発表する。必要に応じてビデオ機器等の使用を可能とするが、担当者に事前に問い合わせ確認しておく。PowerPointは15枚以内とする。

【座長・コメンテーターについて】

日本作業療法士協会・県協会会員であって、5年以上の臨床・教育経験を有し、生涯教育制度基礎コースを修了している者。

【SIGでの発表】

協会認定のSIGでの症例発表については、上記必修条件2.の抄録提出を満たすことで事例報告の受講（発表）として認める。その際、生涯教育受講記録への押印（又は受講証配布）は、受講者（発表者）の責任において、受講証明証等（証明できるもの）により福岡県作業療法協会事務所に手続きを行う。

【他県士会会員の参加について】

福岡県協会員以外の士会員についても受講可能とする。その際には受講証明証等を配布し、生涯教育受講記録への押印は所属県士会において行うこととする。

また、福岡県協会員における他県士会主催の事例検討・報告会の参加は、その開催士会の運営要領に基づき参加可能とする。尚、生涯教育受講記録への押印（又は受講証配布）は、受講（発表・聴講）証明証等（受講費の領収書でも可）により福岡県作業療法協会にて行うので、各会員が受講後、福岡県作業療法協会事務所に問い合わせ、手続きを行うこととする。

※現職者共通研修会「事例報告」同意書については、次ページ意向をご使用ください。所属施設の倫理審査委員会の承認を得ている場合は、本同意書は不要となります。ただし、承認を受けていることを証明できる書類をご準備ください。

※本同意書は、福岡県作業療法協会 ホームページ 生涯教育のコーナーからダウンロード可能です。

※事例報告作成指針は、福岡県作業療法協会 ホームページ 生涯教育のコーナーからダ

ダウンロード可能です。

※福岡県作業療法協会の各ブロックにて、現職者共通研修「事例報告」を開催される場合には、福岡県作業療法協会 ホームページ 生涯教育のコーナーの「運営事項と実施事項」を参照の上、開催頂きますようお願いいたします。

現職者共通研修「事例報告」に関する同意書の説明について

同意書の説明内容の概要は以下の通りです。
これをもとに対象者の方に分かりやすく説明して下さい。

現職者共通研修「事例報告」の目的

- 報告の目的を以下の内容を踏まえて、説明をして下さい。
- ・事例報告の作成によって作業療法実践の質的向上を図る。
 - ・事例報告の分析によって作業療法成果の根拠資料を作成する。
 - ・事例報告の提示によって作業療法実践の成果を内外に示していく。

報告された「事例報告」の利用範囲について

報告された内容は、(社)日本作業療法士協会の機関誌「作業療法」や事例報告登録制度など質向上とした教育・研究および広報活動の基礎資料として使用させて頂くこともあるという内容を説明して下さい。

「事例報告」への参加と取り止めの自由について

以下の内容を分かりやすく説明して下さい。

「事例報告」の協力中止の申し出があった場合、直ちに報告を取り止めます。
承諾を頂けなかった場合や協力中止になった場合、対象者が不利益を受けないことをお約束致します。
ただし、取り止めに申し出た時点で、既に報告された内容を取り下げることや配布されたレポート(資料)の回収などはできません。

人権擁護と個人情報の保護について

公益社団法人福岡県作業療法協会は対象者の人権擁護と個人情報の保護について最善の注意を払います。
報告される事例の個人情報の「匿名化」を行います。
公益社団法人福岡県作業療法協会においても、匿名性について確認し、匿名性が確保されていない「事例報告」については、これを受理しません。
同意書については、公益社団法人福岡県作業療法協会において責任をもって管理・保管し、漏洩および個人情報の紛失などの防止を徹底します。
署名して頂いた同意書のコピーを「ご本人の控え」としてお渡しすること。同意書の原本を抄録用原稿と共に公益社団法人福岡県作業療法協会の事務局に提出し、保管します。

事例報告を行う作業療法士の氏名と連絡先について

事例報告に関する「問い合わせ」や協力を取り止めたい場合の連絡先を対象者と話し合っておいて下さい。

様

現職者共通研修会「事例報告」へのご協力のお願い(依頼)

私、作業療法士の_____は、_____様の作業療法に関する治療・経過について福岡県作業療法協会が主催する現職者共通研修会「事例報告」での報告を考えています。

「事例報告」の会では参加者にレポートや資料を配布し、内容を検討し、今後の作業療法の治療の発展に役立てていきたいと考えています。

レポートや資料作成の際、参加者が対象者の住所や氏名、年齢などを特定できないように配慮を致します。

また、この「事例報告」の協力中止の申し出があった場合、直ちに報告を取り止めます。承諾を頂けなかった場合や協力中止になった場合、対象者が不利益を受けないことをお約束致します。

なお、取り止めに申し出た時点で、既に報告された内容を取り下げることや配布されたレポート(資料)の回収などはできませんので、予めご了承下さい。

以上の内容にご理解を頂き、「事例報告」に参加・投稿することにご協力して頂きますようお願い申し上げます。

説明日：_____年 月 日

説明者：_____

ご理解・ご協力して頂ける場合は、下記にご署名をお願い致します。

現職者共通研修会「事例報告」 同意書

私は、上記内容を理解し、作業療法士の_____が福岡県作業療法協会の主催する現職者共通研修会「事例報告」に参加・投稿することに同意します。

<対象者>

同意日：_____年 月 日

署 名：_____

代諾者(別紙参照)：_____

上記の作業療法士が本施設の所有する上記対象者に関する情報を使用し、「事例報告」に参加・投稿することに同意します。

<施設長・部門の責任者>

同意日：_____年 月 日

施設名：_____

署 名：_____

代諾者になって頂く方々は以下の通りです。

①対象者が未成年の場合

親権者(複数の場合はそのどちらか)または未成年者後見人(対象者に親権者がいない場合)。

②対象者が成年であって、認知症や意識障害等によって有効なインフォームド・コンセントを得ることができないと客観的に判断される場合には、以下の順序で代諾者になっていただく。

任意後見人(但し任意後見監督人選任後であること)、後見人、保佐人等が定まっている場合はその順序。これらが定まっていない場合は、対象者の配偶者、成人の子、または父母、およびそれらに準ずると考えられる人の中から自薦にて就任していただく。

社団法人日本作業療法士協会「事例報告登録制度」に関する同意説明文書より

表1 匿名化のための本文記入上の注意（重要）

項 目	注 意 事 項
1. 氏 名	A 氏, B さん等の記号情報に置き換える. イニシャル (SH 氏等) は使用しない.
2. 生年月日	記載しない.
3. 入院年月日	記載しない.
4. 年 齢	生活年齢を記述するが, 経過の記述と併せて内容に影響を与えない場合には 50 代前半, 60 代半ば, 70 代後半等と略記する.
5. 経過の記述	「25 歳時に結婚」「29 歳時に発症」「31 歳時に入院し 3 カ月後に作業療法を開始」など, 生活年齢と経過年数・月数・日数で表記する.
6. 職 歴	自動車販売, 運送業, デパート勤務など, 業種・職種で表記し, ○○株式会社等の社名は記載しない.
7. 施設名	施設名は記述せず, 総合病院, 精神科病院, 老人デイサービスセンター, 老人保健施設等の領域分類, または精神療養病棟, 回復期リハビリテーション病棟, 訪問リハビリテーションなど, 認可施設・指定サービス分類等の名称で表現する.
8. 県名・地名	A 県, B 市等の記号化した情報を用いる. イニシャルは使用しない. その他, 地域が限定されるような表現は極力避ける.



各部・委員会からのお知らせ

【教育部】

1. 主催研修会開催報告

1) 地域分野研修会（応用編）

日 時：平成25年1月27日（日）10:00～15:30

会 場：福岡医健専門学校

テーマ：『作られた生活（入院生活）から作り出す生活（実生活）へ導くために』
～住宅改修・福祉用具導入の視点～

講 師：①事例提示 村元 聖治
(八女リハビリ病院)
②住宅改修について 森脇 悦子
(おおかわ訪問看護ステーション)
③福祉用具導入について 龍 浩太)

参加数：36名（OT 35名、他職種 1名:PT）

2. 生涯教育制度関連事業

1) 生涯教育制度関連の情報収集およびその広報：本部協会との連携および協力

2) 本部協会 主催研修会への協力

①うつ病に対する作業療法

日 時：平成24年10月20日（土）、21日（日）

会 場：麻生リハビリテーション大学校

②専門作業療法士 福祉用具研修基礎Ⅳ

日 時：平成24年12月1日（土）、2日（日）

会 場：麻生リハビリテーション大学校

3) 現職者共通研修修了確認作業

4) SIG研修会実績調査

5) SIG登録手続き：福岡県内 登録申請分

6) 生涯教育推進委員会出席

平成24年6月16日（土）KITENビルコンベンションホール（宮崎市）

平成24年12月8日（土）首都大学東京

3. 九州作業療法士会関連事業

1) 研修会企画会議出席：平成24年11月17日（土）長崎障害福祉センター

2) 九州作業療法士会会長会主催合同研修会

日 時：平成25年2月10日（日）、11日（月）

会 場：大分コンパルホール

テーマ：後輩教育におけるコーチングについて

【福岡ブロック】

1. 事業企画会議開催：1月17日、2月21日、3月12日

2. エリア会部

1) 事例報告・検討会

日時：2月15日 19:00～

会場：麻生リハビリテーション大学校

発表：10名 聴講：17名

2) エリア会

(1)東区・中央区・博多区エリア会

日時：3月4日 19:00～

会場：香椎丘リハビリテーション病院

内容：医療事故について

参加：17名

(2)南区・春日市・那珂川町・大野城市・太宰府市・筑紫野市エリア

日時：3月14日 19:00～

会場：夫婦石病院

内容：認知高齢者における作業療法変化の
カテゴリーと事例集の作成

講師：鎌田陽之
(ケアセンターひまわり苑)

参加：28名

3. 広報部

1月分「Joy Style」発行

4. 教育学術部

1) 『生活行為向上マネジメント』

日時：1月12日 14:00～

会場：麻生リハビリテーション大学校

講師：大庭潤平先生

(神戸学院大学総合リハビリテーション学部
医療リハビリテーション学科作業療法学 講師)

参加：34名

2) 『作業療法のためのNLP講座』

日時：3月20日 13:00～

会場：福岡赤十字病院 大会議室

講師：杉長彬先生（久喜すずのき病院）

参加：23名

【北九州ブロック】

活動報告

＜北九州ブロック＞

・ブロック企画会議開催

日 時：平成25年1月21日（月）19:00～

会 場：曾根東市民センター 大会議室

日 時：平成25年3月4日（月）19:00～

会 場：曾根東市民センター 大会議室

・第3回北九州ブロック研修会

日 時：平成25年2月28日（木）19:00～

会 場：九州栄養福祉大学 葛原キャンパス

テーマ：「目標設定の戦略～作業療法理論と脳生理学の視点から考える～」

「認知症の人、家族を他職種と支えるために作業療法士として大切なこと」

講 師：近藤 昭彦氏

(麻生リハビリテーション大学校)

谷川 良博氏（東郷外科医院）

参加者：計93名

＜小倉北・門司エリア＞

- ・エリア事業企画会議開催
日 時：平成25年1月8日（火）18:30～
会 場：北九州中央病院
日 時：平成25年2月25日（月）18:30～
会 場：北九州中央病院
- ・第3回エリア研修会開催
日 時：H25.2.15（金）
会 場：北九州中央病院
テーマ：「緩和ケア ～作業療法士としての関わり方～」
講 師：廣末 行雄氏（北九州中央病院）
参加者：31名

＜小倉南・京築エリア＞

- ・エリア事業企画会議開催
日 時：平成24年12月11日（火）19:00～
会 場：小倉南障害者活動センター
日 時：平成25年2月12日（火）19:00～
会 場：小倉南障害者活動センター
- ・第2回エリア研修会開催
日 時：H25.1.27（日）10:00～
会 場：小倉リハビリテーション学院
テーマ：「認知症理解のための脳に関する基礎知識」
講 師：森光 洋子氏
（北九州リハビリテーション学院）
参加者：37名
- ・事例検討会開催
日 時：H25.2.17（日）10:00～
会 場：小倉リハビリテーション学院
演題：3題 聴講者：9名

＜八幡西・遠賀・中間エリア＞

- ・エリア事業企画会議開催
日 時：平成24年12月4日（火）19:00～
会 場：おかがき病院
日 時：平成25年2月5日（火）19:00～
会 場：おかがき病院
- ・第3回エリア研修会開催
日 時：H25.2.21（木）19:00～
会 場：水巻町中央公民館
テーマ：「在宅における終末期作業療法 ～が
ん患者との関わりを通して～」
講 師：坂口 聡子氏
（コールメディカルクリニック福岡）
参加者：28名

＜戸畑・若松・八幡東エリア＞

- ・エリア事業企画会議開催
日 時：平成25年1月8日（火）18:30～
会 場：あやめの里
- ・事例検討会開催
日 時：H25.2.22（金）、3.22（金）18:30
会 場：ウエル戸畑
演 題：14題

【筑後ブロック】

理事

【理事会の報告；（第6回県協会理事会より）平成25年2月18日（月）－良創夢にて】

A地区

1. 報告事項

1) 活動報告：実績報告

(1) 企画会議：計4回

（4月6日、5月10日、9月28日、2月4日）

(2) 地区研修会：参加者53名

①テーマ：「脳画像の診方と活かし方～CT・MRIを中心に」

②講師：久留米大学付属病院 作業療法士 川原大和氏

(3) A地区症例検討会

①発表者 6名

(4) 交流会等：実績なし

2) 活動予定

(1) 次年度の事業計画

予定月	活動内容
H25 10月	新人教育の症例発表会
H25 8月	A地区研修会
H25 9月	A地区企画会議（1回） 1回の会議費4000円

B地区

1) 活動報告

事例検討会（B地区担当）

①日時：平成25年1月16日（水）19:00～20:30

会場：久留米リハビリテーション学院

②発表者 10名…

（2名不参加、発表者本人が開催日時を間違えていた為、連絡がとれず困った。問い合わせ先を確認しておく必要がある）

③聴講者 35名…

（予定では9名、当日申し込みが26名。資料が不足し会場内で追加コピーした）

*発表できなかった方は帝京にて発表となる。

2) 活動予定

(1) 地区企画会議を3月に開催予定

3) その他

(1) 運営委員について変更あり

C地区

1. 協議事項

1) C地区運営委員の変更、増加について

2. 報告事項

1) 活動報告

(1) C地区企画会議

- ①日時 : 平成25年2月4日(月) 19:00
~20:00
- ②場所 : 天領病院
- ③参加者 : 澤田・森・川田・上村・末藤
- ④内容 : ・症例発表会の役割分担の最終確認
・筑後ブロック全体研修会について等

(2) 症例発表会

- ①日時 : 平成25年2月12日(火)
19:00~21:00
- ②場所 : 帝京大学 福岡医療技術学部
- ③座長 : 関氏 (帝京大学)
轟木氏 (帝京大学)
松永氏 (協立病院)
川田氏 (サンファミリー)
- ④発表者 : 12名
- ⑤聴講者 : 2名
- ⑥見学者 : 23名

2) 活動予定

(1) C地区企画会議

- ①日時 : 平成25年4月
- ②場所 : 天領病院
- ③参加者 : C地区運営委員
- ④内容 : ・運営委員の増加について
・筑後ブロック全体研修会について
→9月に研修会開催予定

D地区

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) D地区企画会議

- ・期日 : H25.2.8(金)
- ・場所 : 甘木中央病院
- ・出席者 : 古賀、筒井、出利葉、藤田、田中
- ・内容 : 代表者会議報告、活動予定事業企画

(2) D地区研修会

- ・期日 : H25.2.8(金)
- ・場所 : 通所リハビリけんせい
- ・テーマ : 「半側空間無視について」
- ・講師 : 朝倉健生病院 作業療法士
筒井 祐介先生
- ・参加者 : 34名 (OT25名、ST8名、PT1名)

(3) 年間報告事項

- ①H24年度D地区企画会議実施日程
・6/5、7/2、10/9、11/6、3/4
- ②H24年度D地区交流会報告
・H24.7.28 キリンビアファーム
参加者23名(4施設)
- ③H24年度 大刀洗町ミニデイ講師派遣実績

- ・別紙参照 : 24回(作業療法士5名にて対応、次年度継続事業の予定)

(4) 運営員交代

学術

1. 審議事項

- 1) 来年度に向けての予定について
(1) 昨年度と同じ計画にて実施する。

2. 協議事項 :

- 1) 広報について(事務にて後述)
- 2) 事例報告会について
突然のキャンセル者、辞退未報告者などに対応する為
次年度の案内に『緊急連絡先の明記』を加筆する。

3. 報告事項

- 1) 1月16日 第3回事例報告会 久留米リハ学院にて開催
・発表者 10名 欠席2名(日程の間違い)
・聴講者 9名
・座長 4名
・ポイント申請以外の聴講者 26名
・全49名
- 2) 2月12日 第4回事例報告会 帝京大学にて開催
・発表者 12名 2名は1月分の発表者を追加
・聴講者 3名
・座長 4名
- 3) 参加者の日程間違いについて
・日程の間違いがないように何度も通告する必要あり。
- 4) 事例報告会マニュアルを改定している。現在、担当の係りに確認中である。

会計

1. 審議事項

1) 平成25年度予算案理事会参照

- (1) 平成25年度予算削減している為再確認が必要。
①広報の予算が県協会本部と重複するので削減している。

2. 報告事項

1) 活動報告

- (1) 24年度活動報告

2) 活動予定

- (1) 決算書の作成実施。

事務

1. 審議事項

- 1) インターネット申込みについて筑後ブロックにおいても使用できるように検討依頼。
- 2) 広報目的のTシャツ作成において

2. 協議事項

- 1) 筑後ブロックの広報戦略室の新設を検討
- 2) 平成25年度の動向調査後、筑後ブロック協

会員の情報を提供依頼を行う。

→使用目的：各地区の連絡網作成の為に使用する。

3. 報告事項

1) 活動報告

(1) 第3回筑後ブロック全体研修会について

①概要：案内文参照、概要文参照

②広報くろめ掲載について：3月1日掲載

③役割分担：15人

(2) 筑後ブロック年間報告書作成

2) 活動予定

(1) 第3回筑後ブロック全体研修会開催

3/16(土) 13:00～15:30 久留米大学医療センター

(2) 2013年度運営部員報告(締切：3月15～未迄)

次回会議開催予定：平成25年4月22日(月)
19:30～

場所：高良台リハビリテーション病院 全体会議

【筑豊ブロック】

I. 事業企画会議

1. 平成24年度 第6回事業企画会議

日時：平成25年2月4日(月)
19:00～21:00

会場：飯塚記念病院
デイケアセンター新館

参加者：14名

2. 第8回 県学会準備委員会

日時：平成25年1月21日(月)
19:00～21:00

会場：飯塚記念病院
デイケアセンター新館

参加者：16名

3. 第9回 県学会準備委員会

日時：平成25年2月4日(月)
19:00～22:00

会場：飯塚記念病院
デイケアセンター新館

参加者：16名

4. 第10回 県学会準備委員会

日時：平成25年2月12日(月)
19:00～21:00

会場：飯塚記念病院
デイケアセンター新館

参加者：14名

5. 第11回 県学会準備委員会

日時：平成25年3月4日(月)
19:00～21:00

会場：飯塚記念病院 多目的ホール
参加者：41名

II. 研修会

1. 第6回 筑豊ブロック研修会

日時：平成25年2月14日(木)
19:00～21:00

会場：飯塚記念病院 多目的ホール

内容：生活行為の意味と意味と作業の意味
～作業することが健康、生きがいをつかむ～

講師：轟木健市OTR

(帝京大学福岡医療技術学部)

参加者：41名

(OT39名、PT1名、学生1名)

III. その他

広報誌 第3号 平成25年1月15日発行

広報誌 第4号(第17回福岡県作業療法
学会特集号) 4月中旬発行予定

体に合った車いす・目的に合った車いす
をご提供します
車いす・介護用品・福祉用具レンタル

本社/福岡市中央区天神 5-4-15
営業本部/糟屋郡粕屋町仲原3丁目9-20
TEL/092-938-2208
HP/http://www.takis yokai.co.jp



タキ商会



はじめまして。宮田病院の外尾幸一朗と申します。当病院がある宮若市はこれまで農業が主体の地域でしたが、トヨタ自動車の九州工場を有したことで新たな自動車関連産業も続々と進出し、発展しています。地理的には、筑豊地域の北端（福岡市と北九州市のほぼ中間）に位置し、都会の喧噪から少し離れて、じっくりと医療を実践することができる地域です。当病院の概要、リハビリテーション科の歩みとOTRとしての取り組みの一部について簡単ではありますが紹介させていただきます。

医療法人相生会 宮田病院は、平成7年に開院したまだまだ若い病院です。診療科目は、内科、外科、小児科、肛門外科、脳神経外科、消化器内科 外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、呼吸器内科 外科、皮膚科、麻酔科、循環器内科、整形外科、放射線科、そしてリハビリテーション科が置かれています。また、平成24年12月には『宮田病院附属 サービス付き高齢者向け住宅 山桜』を華々しくオープンし、訪問リハビリテーションや通所リハビリテーションも連携する形で備えております。当病院の病床数は235床で、平成20年から始めている回復期リハビリテーション病棟がその内50床あり、急性期から慢性期にかけて比較的長い治療や療養も可能なケアミックス型の病院です。そのため、他院からの転院による患者さまも比較的多くおられ、より実用的な在宅生活を目指した質の高いリハビリテーションを実践しています。

OTRは現在19名と、この3年間で約2倍に人員が増えています。主に回復期リハビリテーション病棟での体制の整備が理由としてありますが、それでも経験年数の平均値は5年を上回っています。2年前より、中堅と称されるスタッフのチームリーダー制度と年間を通して新人を育てていくプリセプター制度の導入にて、組織的にもバランスの取れた関わりが築けてきているといえます。また、来年度からは実習生も複数名受け入れられる体制を作り、個々の指導者としての管理力の向上も目指していきたいと考えています。

回復期リハビリテーション病棟では、日頃から患者さまと一緒に飾り物を作っており、年間を通して季節感の感じ取れる雰囲気を作り上げています。患者さまの中には自分の役割として位置づけて、訓練時間以外でもリハビリ室まで足を運ばれる方までいます。「回復期に移ってから変わったね」とスタッフ間でも話題に上るくらいです。

現在、7年目になった私は、外来リハビリと重急性期病棟、療養病棟におけるOTR部門のリーダーとなりましたが、入院に限れば療養病棟の患者さまを主に担当しています。日頃から「作業を通して離床が促せれば、患者さまのもっと違った一面が引き出せるのに」と考えますが、なかなか一筋縄では解決できず、看護部との連携は欠かすことが出来ません。簡単に言ってしまうと、思っていることを互いにぶつけ合い、理解し合えたら頼みにくい業務も向こうから引き受けてくれたりする関係作りが大切だと考えています。当病院においては、これまでリハビリ送迎は看護部の業務でしたが、一部の時間帯だけOTRが受け持ち、病棟まで足を運ぶという行動から看護部への接触がしやすくなりました。ベッドサイドリハビリに固定されがちな患者さまを自分たちで送迎し、リハビリ室での様子を密に伝達する事で、その患者さまの普段見られない一面に気づいてもらい、OTの重要性を病棟の職員にも感じてもらえたらと思っています。今はそれだけの変化ですが、寝たきり状態を作りやすい療養病棟の古くから根付いた考え方を年単位で少しずつ見直していきたいと考えています。

このような機会を頂き、ありがとうございました。今後も、宮田病院の発展のためにOTR全員が「着実な成長」を目指して日々研鑽していきたいと思います。



リレーエッセイ

介護老人保健施設リストーロ若宮 齊藤茂

はじめまして、介護老人保健施設リストーロ若宮で勤務しております齊藤茂と申します。

小倉リハビリテーション学院の同級生である須崎優介さんからバトンを引き継ぎました。

私が勤務しているリストーロ若宮は宗像市と飯塚市にはさまれた宮若市にあります。

宮若市は企業ではトヨタ工場・観光では脇田温泉、最近では追い出し猫が有名です。老健は九州道若宮インター近くの田畑に囲まれたのどかな環境にあり、入所定員70名、通所リハ30名をPT1名、OT1名のスタッフでサービスを提供しています。

私は入所担当で主に認知症の方のリハビリを行なっております。リハビリを実施するのにリハ室だけではなく部屋、食堂、廊下などあらゆる生活の場を利用して行なっています。決まった場所がないためエコバッグに作業療法の道具をつめて移動しているため、入所者の方から「重たい荷物もってどこにいくの～」とからかわれています。なぜか職員や入所者の方にいじられる事が多く、このキャラを生かして認知症の方に「1日1回笑いを取る」ことを目標としています。

現在私は福岡県作業療法協会の福岡東ブロック委員に参加しています。ブロック委員の仕事として二ヶ月に一度ブロック会議を行い、研修会等の運営を行なっています。認知症や高次脳機能障害、画像診断や音楽療法まで幅広く研修会を行なっていますが、自分が貢献できたことはまだ少なく、もっと勉強が必要だと痛感しています。

これを読まれている会員の方も各ブロック委員に参加をお願いします。研修会でのアンケートに希望や要望を書いていただければ参考になります。色々な意見を出して研修会等を充実させ、OT一人ひとりの技術を上げることで、今後の作業療法が活性できればと思います。



川崎病院 宮崎量代

たたらリハビリテーション病院の川野美紀さんからバトンを引き継ぎました、川崎病院の宮崎です。川野さんとは、研修会で知り合い、その時出会った講師の先生をはじめその研修会は私にとって、糧となり、かけがえのない貴重な機会となりました。

私が勤務している病院は、病床数215床のPT33名、OT12名、ST3名で、外来・入院・在宅医療はもとより、急性期・回復期・維持期にいたるリハビリテーションシステムで各相においてサービスを提供しています。今年でリハビリテーション科開設20周年を迎え、1月には祝賀会があり総勢80名が参加しました。よき先輩・同期・後輩と恵まれた環境の中で仕事をさせて頂いていることに感謝しています。また、多くの患者様を担当させて頂き、その中で私自身が、OTという仕事を通して役割・喜びを得ていることを実感できる機会となっています。今後も今の自分に出来ることを探求し、知識・技術の向上に努めていきたいと思っています。

私の活力と言えば、美味しい物を食べ、旅行に行くことです。また、趣味で始めたゴルフは、最近メンバーが増え、リハ科では女子ゴルフ部が発足し2月に沖縄ゴルフ旅行（写真）に出かけたところでした。緑の芝生に青い空おまけに海、爽快です。日焼けに注意し、今後も楽しんでいきたいと思っています。



福岡市医師会成人病センター

- 【募集職種】 作業療法士
 【募集人員】 1名
 【雇用形態】 正職員
 【給与】 専門学校卒：166,867円（新卒初任給）
 大 学 卒：180,065円（ 〃 ）
 ※ 既卒の場合は経歴換算をし加算する。
 ※ 定期昇給年1回
 【賞与】 年2回 今年度実績3.95ヵ月
 【勤務時間】 9:00～17:00（※土曜は13:00まで）
 【休日】 日、祝日（※土曜は隔週勤務）
 【福利厚生】 各種保険完備・育児休業制度あり・介護
 休業制度あり
 【その他】 通勤手当・扶養手当・保育手当あり
 特殊勤務手当（資格手当）：20,000円
 住宅手当（賃貸）：10,000円
 （持ち家）：4,500円
 退職金制度あり（勤続3年以上）
 【備考】 詳細は総務・企画情報課までお電話下さい。
 【連絡先】
 福岡市早良区祖原15番7号
 ・TEL：092-831-1211 ・FAX：092-831-3398
 ・Mail：soum@seijin.city.fukuoka.med.or.jp
 ・担当者：総務・企画情報課 人事係

デイルームみなみかぜ

- 【募集職種】 作業療法士（理学療法士も可）
 【募集人員】 若干名
 【雇用形態】 正社員、パート勤務相談可
 【給与】 200,000～230,000円（資格、調整手当込）
 【賞与】 年2回支給
 【勤務時間】 8：30～17：00（休憩60分）
 【休日】 月8日以上、年104休、日曜日は固定休
 【施設概要】 リハビリ型のデイサービスです。平成
 25年6月に新規施設オープン予定、増員の
 為の募集
 【福利厚生】 厚生年金・健康保険・雇用保険・労災
 退職金制度あり（勤続5年以上）
 【その他】 交通費 上限5,000円 マイカー通勤可
 【備考】 試用期間3ヶ月賃金同一、入職時期相談可
 平成25年6月に近隣地に移転予定
有限会社たんぼぼ デイルームみなみかぜ
 福岡県うきは市吉井町生葉632-1
 電話 0943-75-9300 F A X 0943-75-9301
 担当：P T 荻野

一般社団法人 福岡市医師会 訪問看護ステーション

- 【募集職種】 作業療法士・理学療法士
 【募集人員】 若干名
 【雇用形態】 非常勤（契約更新あり）
 【給与】 25万～30万円
 【賞与】 なし
 【勤務時間】 平日9:00～17:00
 土曜（隔週）9:00～13:00
 【休日】 日曜・祝日・8/14～8/15・12/30～1/3
 【福利厚生】 各種保険完備・育児休業制度あり
 【その他】
 旅費：訪問1件につき650円支給
 勤務地：市内3ヵ所
 【備考】 詳細はお問い合わせ下さい
 【連絡先】
 住所：福岡市早良区百道浜1-6-9
 電話：092-852-1512
 F A X：092-852-1510
 担当者名：万代（まんだい） 岡野

済生会福岡総合病院

- 【募集職種】 作業療法士
 【募集人員】 若干名
 【雇用形態】 契約社員（半年後に正規職員登用）
 【給与】 222,600円（契約）262,000円（正規職員）
 ※経験年数5年を想定して試算（交通費10,000
 円・超過勤務手当15,000円含む）
 【賞与】 年3回 3.0ヶ月分（契約）
 4.2ヶ月分（正規職員）
 【勤務時間】 8：30～17：12
 【休日】 4週8休制
 【福利厚生】 各種保険完備/育児休業制度/介護休業制度あり
 【その他】 交通費25,000円まで支給/超過勤務手当支給
 【選考】 応募方法：自由応募
 必要書類：履歴書/職務経歴書/作業療法士免許（写し）
 試験内容：書類選考/筆記（教養・専門・作文）/適正/面接
 選考日程等：応募書類確認後別途送付
 【連絡先】
 福岡市中央区天神1丁目3番46号
 TEL 092-771-8151 F A X 092-716-0185
 担当者名 人事課 宇治川

デイサービスけやき通り古賀

【募集職種】 作業療法士

【募集人員】 1名

【雇用形態】 常勤（又は非常勤）

【給 与】 正社員：200,000~230,000円

（非常勤：面談の上決定）

【賞 与】 年2回

【勤務時間】 8：30～17：30

【休 日】 日曜他、週休2日制、年末年始

【福利厚生】 社会保険、雇用保険、厚生年金

【ホームページ】

「デイサービスけやき通り」で検索。

【その他】 交通費支給、昇給年1万円以上

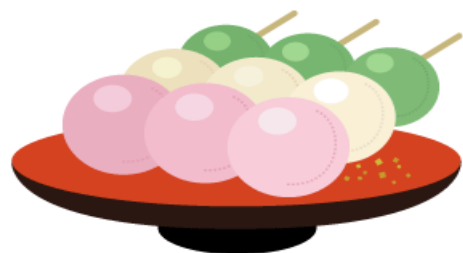
【備 考】

- 作業に焦点をあてた作業療法を行います。
- モットーは「ココロが動けば、カラダも動く！」
- 当社の作業療法に関して知りたい方は書籍「だから、作業療法が大好きです！」（三輪書店）をご覧ください。
- 2年契約、3年契約等の雇用形態も考えています。

〒811-3107 福岡県古賀市美明2-1-6

TEL：092-410-3380

担当者：葉山靖明（keyaki@tulip.ocn.ne.jp）



会員動向調査

調査期間 (2012.11.28～2013.3.6)

福岡県作業療法協会 会員数2,425名

(正会員：2,223名 自宅会員：202名)

<入会>

藤井 麻紀 デイサービス ファイン
：2012年11月
坂本 幸華子 北九州総合病院：2012年11月
田邊 菜穂 北九州安部山公園病院
：2012年5月
阿部 司 小倉リハビリテーション病院
：2012年11月
梶山 美帆 大手町リハビリテーション病
院
：2012年11月
東 里織 新行橋病院
：2012年12月
保科 恵美 新行橋病院
：2013年1月
谷川 沙登未 ひびき荘 グループホーム
：2012年4月
河野 圭美 宗像病院
：2012年12月
中嶋 幸子 西岡病院
：2013年1月
江藤 はるか 友愛病院
：2012年11月
森園 亮 誠愛リハビリテーション病院
：2012年9月
大川 照明 福岡天神医療リハビリ専門学
校
：2012年12月
住垣 亜弥 おおむた訪問看護ステーショ
ン
：2013年1月
綾戸 沙央里 堀川病院
：2012年11月
重富 陽祐 丸山循環器科内科医院 総合ケ
アステーション あけぼの
：2012年11月

<県内移動>

本村 藍子 松井病院
：2012年9月
(介護老人保健施設 エメロード三萩野より)
枝吉 純子 特別養護老人ホーム こくらの
郷 デイサービスセンター
：2010年4月
(自宅より)
渡邊 亜沙美 大手町リハビリテーション病院
：2012年11月
(おさゆきリハビリテーション病院より)
後藤 由美子 大手町リハビリテーション病院
：2012年11月
(大手町病院より)
堀 裕介 聖和クリニック：2012年4月
(東和病院より)
福田 亜弓 新栄会病院
：2013年1月
(東和病院より)
宮地 陽子 あやめ訪問看護ステーション
：2012年6月
(戸畑リハビリテーション病院より)

シュローダー 里織 新小文字病院

：2012年4月
(自宅より)
原 加代子 介護老人保健施設 桜丘
：2012年8月
(新小文字病院より)
長本 多恵 自宅
：2013年1月
(介護老人保健施設 博愛苑より)
山田 陽子 自宅
：2013年1月
(デイサービスセンター ベル・ローザより)
工藤 未来美 福西会南病院
：2013年1月
(倉光病院より)
木下 淳美 おおやこどもクリニック
：2013年1月
(福岡新水巻病院より)
白川 章子 おおやこどもクリニック
：2011年4月
(誠愛リハビリテーション病院より)
石津 裕章 健脳リハビリテーションセン
ター デイサービス ららら
：2012年10月
(鹿子生整形外科医院より)
原田 幸子 新吉塚病院
：2013年2月
(久留米リハビリテーション病院より)
笹ヶ迫 陽子 松崎クリニック：2011年9月
(福祉松快園より)
児玉 明日香 杉病院
：2012年11月
(戸畑リハビリテーション病院より)
秋山 大輔 吉村病院
：2012年9月
(黒田整形外科医院より)
岡 美里 介護老人保健施設 くすの郷
：2012年12月
(原病院より)
後藤 琴乃 あおぞらの里 和白訪問看護ス
テーション
：2012年9月
(博愛会病院より)
町田 真一朗 アイエック訪問看護ステーショ
ン
：2012年12月
(あおぞらの里 和白訪問看護ステーショ
ンより)
早川 綾乃 デイサービス やぐらもん
：2013年1月
(博愛会病院より)
吉田 和子 ハローワーク福岡中央
：2011年5月
(若久病院より)
田中 悠希 自宅
：2012年12月
(白十字病院より)

中村 菜々子 自宅 : 2013年2月
(白十字病院より)

木村 侯 社会福祉法人 幸友会 : 2012年11月
(自宅より)

大熊 唯加 共立病院 : 2011年10月
(麻生飯塚病院より)

井上 美穂 済生会 飯塚嘉穂病院 : 2013年2月
(麻生飯塚病院より)

木村 直子 曾我病院 : 2012年5月
(自宅より)

宮木 麻美 高木病院 : 2012年6月
(自宅より)

坂本 美樹 自宅 : 2012年12月
(介護老人保健施設 アスピアより)

相川 真哉 自宅 : 2013年1月
(ほがらかデイサービス アルファ俊聖より)

<退会者>

日野 邦裕 福岡市立こども病院感染症センター : 2013年1月

持山 縁 小嶺江藤病院 : 2013年1月

松本 祥子 八幡厚生病院 : 2013年2月

瀧脇 萌 : 2013年2月

鹿子生 扶美 : 2013年1月

上田 豪気 : 2013年1月

稲富 晶子 : 2013年2月

仙波 梨沙 : 2013年1月

北島 千景 : 2013年2月

井手 あゆみ : 2012年12月

岳本 雅幸 : 2012年11月

今井 元子 : 2012年12月

異動の際の手続きについて

職場・自宅等の変更のあった方は、必ず文書で
県協会事務局へご連絡下さい。

協会ホームページ(<http://www.fuku-ot.org/>)へ
アクセスし、入会・異動・退会の項から届出用紙
をダウンロードして下さい。

用紙に異動前・後の施設名、郵便番号、住所、電
話番号を明記して下さい。自宅住所の変更もお忘
れなくお願いします。

ご不明な点は、福岡県作業療法協会事務所までお
問い合わせ下さい。

TEL 093-952-7587

編集後記

新年度を迎えるにあたり、広報部ではより公
益性の高い活動を目指していこうと考えていま
す。さて、今回の特集は「ほめ学のスズメ」で
す。これは非常に勉強になりました(子育ての
ヒントにもなりそう)。学生指導において、ほ
めることの効果はなんとなくわかるのですが、
言葉にしてほめようとするとなんかわざとら
しくなり、また照れくさくもあります。ちぐはぐ
なほめ方だと効果も半減するし、またほめる人
によっても効果に差がでるものと思います。そ
んなことを考えているとなかなか相手をほめる
ことなんかできません。しかし今回の記事のよ
うに雑学、科学的根拠を示されると改めてほめ
ることの重要性について考えさせられます。「さ
りげなく、上手にほめること」ができ、また
「ほめられて嬉しい」と相手に思わせるよう
になりたいものです・・・というか、その前に
私自身がほめられたいです。最後にほめられた
のはいつだったっけ・・・

(S沼)

会員の皆様へ

これまで、会員の皆様の異動状況を会報にて報
告してまいりましたが、「事務所へ報告はする
が、会報への掲載は望まない」という要望もござ
います。

異動等の報告の際、会報への掲載を希望されな
い場合は所定の用紙(異動届等)にその旨ご記入
ください。

